

# WEEKLY NEWS 2018 週報 通算 2240回 《8回》

## 第2640地区 和歌山東南ロータリークラブ

会長：鯨 拓也 幹事：宇治田堅三 会報委員長：籠田 弘



ロータリー：  
変化をもたらす

例会日：水曜日 例会場：ルミエール華月殿 第1・第2:18:30～(夜) 第3・第4・第5:12:30～(昼)  
事務局 E-Mail a-rotary@coral.cypress.ne.jp http://www3.cypress.ne.jp/tonan-rotary.html

本日の例会  
9月6日(水)  
18:30～華月殿

- ・開会点鐘 鯨会長 ・ロータリーソング 君が代、われ等 和歌山東南ロータリー、バーステイキング
- ・出席報告(例会委員会) ・ニコニコ箱(寄付金)報告 ・会長挨拶 ・幹事報告
- ・委員会報告 ・行事 外部卓話 医療法人 天竹会 理学療法士 中村玲雄様「腰痛予防」 ・閉会点鐘 鯨会長

先週例会報告 会場監督 塩崎 和仁

ゲスト: 自衛隊和歌山地方協力本部長 錦織 誠様

### 会長挨拶

鯨 拓也 会長

皆さん、こんにちは。今日は、連続3回目の外部卓話です。

昨日は、北が中距離弾道ミサイルを日本の頭上を通過させました。このタイミングで、自衛隊和歌山地方協力本部本部長、錦織さんの卓話です。一昨日まで考えておられたネタが変わったのではないのでしょうか？ よろしくお祈りします。

国際社会は、経済制裁等の強化によって、いわゆる兵糧攻めにして考え方を変えさせようとしているわけですが、この貧しいはずの国は強気でミサイルを連射してきます。この独裁者 正恩は1984年生まれ、皆さんから見たら孫のような若蔵に世界中が翻弄されています。早く終止符を打ちたいものです。

おかげさまで、金価格は有事の金買いで、1300ドル超えの地政学的リスク取り長くは続かないでしょう。日本列島が、東西の緩衝地帯にならないよう自衛隊さんに頑張っていただきたいと思います。



### 幹事報告

宇治田堅三 幹事

- ① ロータリーレート 9月は1\$=109円です。
- ② 和歌山県薬務課より平成28年度麻薬・覚醒剤乱用防止運動の実施について。のお知らせが届いております。 実施期間:10月1日～11月30日  
実施事項:①広報機関等による啓発 ②平成29年度麻薬・覚醒剤乱用防止運動わかやま大会の開催 ③和歌山県薬物乱用防止指導員、関係団体との連携による啓発 ③教育の現場等における啓発 ④相談窓口制度の周知
- ③ インターアクト国際交流親睦会の案内  
日時・場所:9月10日(日)10:00～15:00、帝塚山学院泉ヶ丘中学校高等学校
- ④ 2件お知らせを各テーブルに一部置いています。お目通しください。  
・米山梅吉記念館より「賛助会員ご入会のお祝い」「秋季例祭」
- ⑤ 地区大会ゴルフ 10月30日(月)の出欠表を回しますので、皆様ご記入いただきますようよろしくお願い申し上げます。



Rotary  和歌山東南ロータリークラブ

	ニコニコ	米山記念奨学会	ロータリー財団	東南育英会
累計	602,776	260,000	177,000	37,000

出席報告			出席者	出席率
会員総数	43名	8/30	32名	80.00%
出席免除会員	4名	8/9	31名	79.49%

## ニコニコ箱

### 小林 一三 会計

自衛隊 和歌山地方協力本部長 錦織 誠様・卓話お礼は奉仕活動にお役立てください。  
西口君・日本の防衛 よろしくお祈りします。

## ロータリー財団

宇治田君・自衛隊の錦織本部長様 卓話よろしくお祈りします。  
平君・錦織 本部長、本日卓話よろしくお祈りします。

## 米山記念奨学会

鯨君・楠見さん、土曜日はごくろう様でした。

## 東南育英会

中板君・残暑 お見舞い申し上げます。



## 外部卓話 「最近の安全保障環境とこれからの日本の防衛」 自衛隊和歌山地方協力本部 錦織 誠 様



防衛庁が「防衛省」に昇格後10年が経過した現在、我が国を取り巻く安全保障環境は、様々な課題や不安定要因がより顕在化・先鋭化してきており、一層厳しさを増しています。

北朝鮮は、2回の核実験強行及び20発以上の弾道ミサイルを発射した昨年引き続き、今年に入ってから、数種類の弾道ミサイルを既に13回にわたり発射しており、8月29日には、ついに、日本列島上空を飛翔する弾道ミサイルを発射しました。このような累次にわたる弾道ミサイル発射実験により、弾道ミサイルの長射程化、命中精度の向上、奇襲攻撃能力の向上、発射形態の多様化が図られているほか、核兵器の小型化・弾頭化の実現に至っている可能性が考えられる等、北朝鮮による核・弾道ミサイル開発の進展は我が国を含む地域及び国際社会に対する“新たな段階の脅威”となっています。

また、中国は、海洋における利害が対立する問題をめぐって、既存の国際秩序とは相容れない独自の主張に基づき、力を背景とした現状変更の試みや、その既成事実化を着実に進めるなど、高圧的ともいえる自らの一方的な主張を妥協なく実現しようとする姿勢を継続的に示しており、その軍事動向等は軍事や安全保障に関する透明性の不足とあいまって、我が国を含む地域及び国際社会の安全保障環境に与える影響について強く懸念されます。

このような中、防衛省・自衛隊は、我が国自身の防衛力の強化、日米同盟の強化、安全保障協力の積極的な推進、平和安保法制に基づく活動の着実な実施を大きな柱として、何時いかなる事態に対しても、我が国の主権・独立を維持し、国民の生命と平和な暮らしを守り抜くため、約27万人の自衛隊員が昼夜を分かたず全力で職務に邁進しております。

引き続き、皆様方からの防衛省・自衛隊及びその活動に対するご理解とご協力、そして暖かいご声援を賜りますようよろしくお願いいたします。

引き続き、皆様方からの防衛省・自衛隊及びその活動に対するご理解とご協力、そして暖かいご声援を賜りますようよろしくお願いいたします。